

〔類聚名義抄〕鮓 鮓 巨灰 反 鰐 俗用訓 驚 ハエ ハム サハ

〔下學集〕氣形 鰐 鰐 同

〔物類稱呼〕鮓はゑ 東國にてはやと云はゑは蠅を好て食ふ故になづく、但蠅は關西にては。へ、關東にてはいといふ。

〔空穗物語〕大將ゑろがねのかゝり四あしつけさせて、いもじどもめしてつくらせ給て、とりあぐるいをどもとらせつ、あゆ一こはへひとこ略

〔新撰六帖〕いを

冬川のきしの下行水ぬるみはえある世にもあひにける哉

家良

〔本朝食鑑〕鮓 河湖 有鱗 鮓 訓 波

〔釋名〕鱣 漢語 波也、東鱣、燻囊、鱣，源順曰、字所出未詳、鮓四聲字苑云、巨灰反、按鮓者江海中之大魚、鱣屬非小魚之名、字彙謂鮓音危、魚似鮓背青口小名鮓、背黑腹白名鮓、今以似鮓而名之乎、字書所言者河鈍也、今從和名而證之、又字彙鱣音區、狀似鰐無足長寸、大如久股、出遼東、然則非波惠魚、今燻囊何據而名之乎、未詳。

〔集解〕川湖處處多有、狀似鮓而白色、背淡黑、略帶青色、性好群集浮遊于水上、味甘淡稍美而不腥、然不及鮓魚之美也、鮓嗜蠅、故漁人用馬尾、或鯨鬚摸成蠅頭著長縷、先泛炒糖于水上、則群鮓逐香而聚、於時投蠅頭于水、頻頻釣之、手熟者一瞬以百數、或以撒網打網采之、打網者、細目而廣二尺許、下有袋形、長四五丈、此亦先放香餌于水上、繼而漁夫左手持網、右手提片端、旋撒于水中、其形作圓樣、似結首尾、而後跳于圍中者數回、少間次第舉網則多獲之矣、近世有曝乾者、有燒乾者、俱爲佳味也、○中略

肉、氣味、甘溫無毒、主治脾胃調心腎、解小兒疳疾、多食則易瀉、

〔大和本草〕鮓 河魚 鰐 何レノ川ニモアリ、類多シ、白ハエアリ、大ナリ、赤ハエアリ、アブラハエアリ、昔ヨリ倭俗餵ノ字ヲハエトヨム、万葉集ニモ書ケリ、出處未詳、順和名抄ニハ鮓ヲハエト訓ズ、是亦出處不詳、國俗ノ說ニ甘草ニ反スト云、性味鱣ニ不及ザレドモ、頗温補ス、乾タルハ、最佳シ、補脾止